

【令和7年度（2025年度）審判員の目標】

令和7（2025）年2月1日
（公財）日本ハンドボール協会 競技・審判本部
指導普及本部

1 『審判員としての人間性』（笛は人格を現す）

・ 審判員の心得 10箇条（別添資料①）

- | | |
|-------------------|------------|
| ① リーダーシップ | ⑥ 身体上の適正 |
| ② 誠実さ（リスペクト） | ⑦ ユーモアのセンス |
| ③ ルールに関する知識（競技規則） | ⑧ 勇気 |
| ④ 冷静さ | ⑨ 協調性 |
| ⑤ 正しい判断 | ⑩ 仲間意識 |

2 『ゲームマネジメント』（別添資料②）

（1）『ハンドボールのイメージを守る』

- ・ プロボケーション・オーバーリアクション・シミュレーション・・・競技規則8：7、8：8の適切な運用
- ・ ユニフォームを掴むプレーに対し、早い段階から、適切な対応および判定
- ・ ピボット（PV）ゾーン の攻防の管理は、コートレフェリー・ゴールレフェリーの協働作業

（2）『選手の安心・安全の確保』


- ・ 安心、安全のための「ゲームマネジメント」
- ・ 危険な行為に対する判定の基準・・・競技規則8：3の判断基準を踏まえた、8：4、8：5、8：6の適切な運用
- ・ ウイングシュートに対する防御行為 ” Long Step” と “Foot on Foot”
- ・ 試合開始15分間で「カテゴリーに対応した適切な基準」を示し、その基準を「試合展開に関係なく」、「試合終了まで維持」

（3）『公平性・バランス』

- ・ 違反した側が有利になる判定は、決してあってはならない。
- ・ 試合終盤（僅差の場合や、残り10分を切ってからは全ての試合において）の集中力を高め、維持する。この時間帯にミスが決してあってはならない覚悟で試合を運営する。
- ・ バランス（判定のバランス、両レフェリーのバランス、両チームへの運用のバランス、特に近い時間帯）を常に意識し、試合を運営する。

審判員の心得10箇条 2024ver
(※ ★印は、2024年度、新たに追加した内容)

【令和7（2025）年度 審判員の目標1】 資料①



審判員の心得
10箇条 2025ver.

審判本部長 福島亮一

1

笛は人格を現す

笛が受け入れられるも、そうでないも、
その人の人間性が決める




2

【2025新】
審判員として大切にすべきことは何なのか・・・

★ゲームマネジメント

**ハンドボールのイメージを守る
プレーヤーの安心・安全の確保
公平性・バランス**

ハンドボールをより魅力あるものに
競技人口を増やす ファンを増やす



3

① リーダーシップ / Leadership

レフェリーの権限を利用した
「指示」「命令」であってはならない

自身のハンドボール観、ハンドボール理念のもと、
無駄な中断をなくし、「バランス」を意識しながら、
「ボディランゲージ」「口頭」「笛」等を用いて
基準を示し、かつその基準が
「適切で」周囲に「受け入れられること」こそが、
ゲームを管理・運営していく指揮者としての役目である





4

② 誠実さ / Honesty

「強く!!」

「強さ」なくして「誠実さ」はあり得ない。
スポーツマンシップに反する行為に対する
レフェリーの毅然とした態度もまた・・・

勝利の行方がどうであっても、
「試合終了まで、基準を一定に保つ」
特に初心者のプレーほど丁寧な吹笛を!



5

Sportsmanship (スポーツマンシップ)

仲間がいるから、相手がいるから ... 成り立つ競技
チームがいるから、試合が成立するから、
ペアがいるから、仲間がいるから ... 笛が持てる

➡ **リスペクト**
(相手へ、仲間へ、ルールへ、自分自身へ...)





6

Respect (リスペクト)

ハンドボールの発展、未来が失われないためにも

- # 安心・安全でプレーができるために
- # 安心・安全の中、観衆が観戦できるために
- # ハンドボールの発展のために


「誠実さ」を大切にしていきたい。


7


Common sense (常識)

「一般人が共通に持っている普通の知識や思慮分別」
 (持つべき) ~岩波 国語事典 第7版 新版 (2011) より~

ハンドボールでも 

競技規則に沿ってプレーしている人が損をしてはいけない

- # ダメなものはダメ!
- # アクションにはリアクションを 
- # 安心できる、安全を実感できるマネジメントを!!



8


③ ルールに関する知識 / Knowledge of the Rule

ルールを熟知していること、
 さらにその根底にある意図・思想を理解する

競技規則書の文言を用いて判定の根拠を説明する

- # 吹けば責任
- # 何をもって吹いたのか

反則された者が不利に
 反則した者が有利になるってはならない



9

④ 冷静さ / Firmness

感情的になるな!!
 「常識」で考えよ

瞬間、瞬間に適切な判断をし、
 「穏やかに」振る舞う

常にゲームの流れ、雰囲気を感じながら(共感しながら)
 信念を持ち、納得される判定を




10

⑤ 正しい判断 / Good judgment

よく観察し、はっきり確認したものだけを判定する
 決して予測で吹笛してはならない

起こりうる準備・・・「シミュレーション」
 「プロボケーション」
 「オーバーリアクション」

ただし・・・
 見えたもの全てを判定するのではなく、
 発展性の有無を見極めることが大切
 (アドバンテージルール)



11


⑥ 身体上の適性 / Good fitness

素晴らしい笛(タイミング、判定基準)は、
 良い位置に素早く移動して、適切に判定することから生まれる

常にボールをめぐる攻防の「間」が
 観察できる位置へ動くこと

試合終了までの集中力
 「試合の終盤はミスを起こさない!」

レフェリーもアスリート
 We must run, too! 日々、トレーニングを




12

⑦ ユーモアのセンス / Sense of humor

ユーモアはなくて困るものではないが、
 もしも

選手を罰するときに微笑を持ったなら…
 あるいは伝え方一つにしても…
 両チームへの「**バランス**」を意識しながら…

共にこのゲームを作りたいとする温かい心（**人間性**）が
 相手に伝わるはずである



13

⑧ 勇気 / Courage

監督・選手が
 恩師や先輩であっても、
 ルールはルール

競技規則に則ったチームや
 周囲から受け入れられない
 判定を下す場合であっても
 勇気を持ち公平、的確に
 そして毅然と対処する



14

⑨ 協調性 / Cooperation

競技場には、第三のチームが存在する
 (ベア+テクニカルオフィシャル+競技役員 など)
 しかしレフェリーは、二人しかいないことを忘れてはならない

領域分担（責任領域）+協働作業

またゲームの運営において…
 二人の協働とともに、大会を支える
 チーム・競技役員・補助役員と
 連携することも重要



15

⑩ 仲間意識 / Fellowship

共にハンドボールを支える沢山の仲間の存在を認め、

ゲームや大会が終われば、互いを褒め称えることも
 忘れずに

ハンドボールを守るために、
 ハンドボールにかかわるすべての人を守るために…
 不適切な言動や行動は、決してあってはならない。



16

**一戦一戦・一瞬一瞬を
 真剣に対処すべし**



17